



令和2年6月18日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証JASDAQ市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

当社グループが保有するタイの高級リゾート「ゼボラリゾート」がユネスコで紹介されました

当社グループが保有するタイ、皮皮島に所在する高級リゾート「ゼボラリゾート」が国連教育科学文化機関（UNESCO ユネスコ）のウェブサイトにて紹介されましたのでお知らせいたします。

皮皮・ドン島にあるゼボラリゾートは2008年にオープンし、経験豊富なホテルマネージャーであるフローリアン・ハレルマンに運営が任されていました。彼が任についた初日からサステナビリティは最優先の課題でした。この美しいリゾートがある小さな島には繊細な生態系が存在したからです。総支配人に就任してからの数年間で、このリゾートのプラスチックボトルの廃棄物は約30万本減少しました。これはほんの始まりでしかありませんでした。

「すべてが自分自身で行うことで、このホテルは完璧な学習の場となっています。」と彼は語ります。「私たちは自分たちで水を作り出していますし、以前は自分たちで電気を発電していましたし、自分たちで廃水を浄化もしています。」「バンコクやプーケットでは当たり前で安価だと思われるすべてのことが、私たちのホテルでは大きな努力を必要とします。決して安くはありませんが、投資に対する見返りはすぐに現れます。」

サステナビリティはビジネスにも良いのです

ハレルマン氏は、環境に配慮しているからといって自分の施設を求めるゲストが大幅に増えたわけではないとしながらも、このリゾートがとってきた対策の多くがプラスの財務的リターンと節約につながっていることを指摘しています。「ビジネスを運営する上での意思決定プロセスに自然やあなたの仲間、地域社会を入れれば、基本的にはより多くの利益を得ることができるのです」と彼は言います。

「私は1994年にバンヤンツリー・プーケットをオープンした時に、セラミック製のシャンプーボトルを使ったことから学びました。バンヤンツリーグループのホテルには、プラスチック製のシャンプーボトルは一本もありませんでした。そのため、2008年にゼボラをオープンしたときにセラミックシャンプーボトルを導入し、現在（2020年第1四半期）までにバスルームのアメニティで約

800万バートの節約ができたと計算しました。節約したお金で他のことをすることができるので、投資対効果はそれほど高くないように見えるかもしれませんが。」

最も価値のあるツール

なぜゼボラは貯蓄額を正確な数字で示すことができるのでしょうか？それは、ハレルマン氏がすべてを追跡することの重要性を強調しているからです。彼は、リゾート内の53のヴィラの水使用量を調査した例を挙げました。各ヴィラの水使用量を追跡することで、スタッフは水漏れを素早く発見し、水の浪費を減らすための対策を講じることができます。ゼボラの月次報告書には、電気使用量、水使用量、ゴミの削減量、社会福祉寄付金などが記載されています。

"これらの報告書は、Travelifeと彼らの認定を受けた結果によるものです。旅行代理店から「認証はどこにあるの？」と聞かれたことがきっかけで登録しました。Travelifeのリストを開いたとき、気絶しそうになりました！126の基準があり、すべての基準が要求されています。126の基準がありますが、すべて証拠を要求してきます。実際のところ彼らが求めているのは、持続可能性がどれだけ効果的であるかということではありません。必要とされているのは書類でした。認証を取得するには1年かかりました。

利益がすべてではありません

自然を大切に育てる家庭で育ったハレルマン氏は、持続可能性が努力とコストに見合う価値をもたらすのは、単に節約だけではないと言います。「私のホテルには22種類の鳥がいますが、その鳥たちが私を幸せにしてくれています。安全な環境が整っていますし、今は繁殖期なので、毎朝6時にはホテル中が鳥の鳴き声で騒然としています。それはバンコクにはないものです。プーケットにもありません。それは人生をより良いものにするのです。」

肝心なことは、自分の世界をより良い状態で未来の世代に手渡すことだと、彼は付け加えました。
-彼の場合は、彼の幼い娘です。

ハレルマン氏はまた、ホテルを持続可能なものにするためには、スタッフを巻き込み、関与させることの重要性を強調しました。「私たちはここで働くだけでなく、ここで生活しています。」ここは私たちの家なのです。

この取り組みの例としては、月に一度、スタッフがおこなうバーベキューがあります。それぞれのサステナビリティ対策がどのように効果を上げたかについての進捗状況を全員に報告するので、また、研修生を含むすべてのスタッフには、買い物用の布袋と金属製のコップが配られ、リゾート内にある4つの無料の給水所のどこでも水を補充できるようになっています。一方、宿泊客は1つのステーションしか利用できません。

「ゲストに何かをする前に、スタッフにも用意しました。取り組みは冒険にしなければなりません。そうすれば、上意下達ではなく、ボトムアップで始めることができます。ホテルビジネスはスタッフにかかっているのですから、彼らが全体のプロセスに関わっていることが不可欠なのです。」

ホテルについて

ゼアボラリゾートは、タイのクラビ県のピピドン島の北端に位置する5つ星ホテルです。レームトン栈橋から歩いてすぐの場所にあり、53棟のヴィラ、リラックスできる2つのレストラン、優れたスパ、ダイブセンターなどの施設を備えています。2008年の開業以来、タイ政府観光局（TAT）とWanderlust誌が主催する「2019 Responsible Thailand Awards」のベストホテル賞、「2019 Haute Grandeur Global Awards」のベストエコフレンドリーホテル賞など、いくつかの重要な賞や認証を獲得しています。

以下に当該記事をご紹介します。（英文）

<https://unescosustainable.travel/en/zeavola-resort>

以 上